

丹波市議会だより

たんばりんぐ

令和元年

8

TAMBA CITY
臨時号



議案第75号 旧柏原町役場庁舎条例を 否決



臨時会の様子（録画映像）は市議会ホームページからみることができます。[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継

どんなことが話し合われたのかをCHECK!

Open!

旧柏原町役場庁舎条例の 提案から否決まで

特別委員会では可決

旧柏原町役場（現柏原支所）を観光振興や宿泊施設等に活用するための条例（議案第75号）が6月定例会で提案されました。この議案は、支所の用途変更という市全体に係る問題として、ホテル化の提案当初から、議員全員で議論してきた状況等を踏まえ、議員全員（議長を除く）で構成する議案（第75号）審査特別委員会（藤原悟委員長）で審査することとしました。議案は閉会中の継続審査となっていました。7月10日で審査を終了し、自由討議を行い、その後の採決で、賛成多数により可決されました。



特別委員会での自由討議の意見

自由討議：議案審査の結論を出すにあたって、質疑終結後、意見交換を行うこと

- ホテル化には不安もあるが、丹波市全体の活性化のためにも、柏原で成功事例を作っていくことが大切である。
- ホテル化を起爆剤として、丹波市での新たな観光資源や魅力の発掘、開発も必要である。
- 市の支出についてはホテル化だけでなく観光拠点機能としての役目があり、エリアマネジメントを進めるという意味でも必要と考える。
- 今回の計画は、ハイリスクである。
- 提案当初からは計画がどんどん変わっ

- てきており、非常に希薄な計画である。
- 一億数千万円をかけるなら、もっと市民が望んでいることや市民の生活のために使うべきである。
- ホテル化の工事は民間業者で、すべてやるべきである。
- 当初の「二階に客室2室、一階が観光拠点」の案であれば賛成できた。
- 多くの市民や市の職員からも心配の声を聞いている。
- インバウンドの消費促進、地域経済の活性化のために必要な事業である。

エリアマネジメント：特定の地域を単位に、民間が主体となつて、まちづくりや地域経営を積極的に行おうという取組

		2019 (令和元年)					2018 (平成30年)		2017 (平成29年)				
		7/18	7/10	6/24	6/14	5/31	4/23	4	3	8	3	2	12
特別委員会	議案第75号の審査												
	② 審査 ↓ 自由討議 ↓ 採決 ↓ 可決												
臨時会	議案第75号の審査												
	② 審査 ↓ 自由討議 ↓ 採決 ↓ 可決												

討論の内容をCHECK!

※討論：採決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明すること

臨時会で否決

特別委員会での審査終了を受け7月18日に丹波市議会臨時会を開催。特別委員会委員長の審査報告の後、討論・採決を行った結果、議案第75号は賛成少数により否決されました。

討論要旨

反対

奥村正行議員

この計画は朝来市を参考にしたと答弁を受けました。6人の議員で岐阜県美濃市の古民家活用事業を視察研修しました。古民家の寄贈の申し出を受け、丹波市と同様、一般社団法人ノオト代表の金野幸雄氏に活用について、事業の確実性を高めるため（株）長大PPP推進部長の藤井豊氏に導入手続き・留意事項のアドバイスを受け、庁内検討で予算支出が0円でなければ取り組まないと決定。指定管理契約でなく定期借家契約を結び、設計・改修・運営は運営事業者が包括実施1億4500万円の資金を調達されています。1室4万4000円から5万7750円（大人2人小学生1人、朝食付き）。近くに案内所兼土産物店があり、観光拠点

機能は設けないなど市の支出のない事業であるが、リスク管理として第三者の意見を求められています。

一方、丹波市は2億弱の財政出動があるがコストと時間がかかるとして市場調査しておらず、今のまま事業を進めることは計画不足の無謀な投資です。財政収支見通しが厳しい中、事業の確実性について市民に説明がなく、市内部で熟議されたとも思えません。田原邸についても市の想定変更による収益性の影響を熟議されていません。1泊3万5000円注はおそらく下げられると思うが、収益の影響の計算がなく、その時には不足分を指定管理料として要求されるのは明らかです。今の計画は事業を実行することが目的で、リスク管理が不十分です。

が使われることや、1泊3万5000円で宿泊する人なんかいないとの意見を多く聞きました。私の知る範囲では賛成する方は、本事業に参加を検討されている方や何らかの関係を持つ方のみで、市職員も含めほとんどが反対でした。

私は田原邸、支所の用途や運営などを変更された事と市長の非常に強い思いもあり賛成でした。

しかし、提案後の説明はその都度説明が変わり全く白紙で賛成してと言われているように思うのは私だけでしょうか。特別委員会では賛成する責任も反対する責任もあると発言された議員がありましたが、反対の議員は疑問点に質問をし納得できないから反対をしている。賛成する議員は費やされる公費の使い方に責任を持って賛成しなければなりません。また、議員は市民のみなさんの意見を聞き伝えることも大きな仕事です。チェックがでない議会は、本来の議会の役割をはたしておら

賛成

吉積毅議員

注 客室料金
1泊1部屋1人あたり
35,000円
(ただし食事代は含まない)

この額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て料金を決定

PPP：公民連携

平成30年10月に、市長に対して「柏原庁舎2階のホテル化計画を中止し、『観光拠点整備懇話会』の『提言書』を基本に観光拠点整備を進め

ることについての意見書」が議員11名により提出されました。

私も市長の強引な提案に対して、グラントデザインが来ていない、一度立ち止まりゼロバーとして再提案をいただきたいの思いで賛同いたしました。

賛成

須原弥生議員

最初は観光拠点に始まり、ホテル化、エリアマネジメント、田原邸の購入について、そして柏原支所の移転など、提案が二転、三転し、その都度、地元の方にも話をお伺いしながら、自問自答してまいりました。

一方、市の多額の支出を伴うことにつきまして、市民の生活のためや子育て支援等に使う方が良いのではないかと、という考えもありました。

考えであります。

平成31年2月には政策討論会を議員全員により開催するに至りましたが、結果的に政策提案には至りませんでした。

今回審査特別委員会が設置され、審査に当たり「柏原町役場庁舎の整備・運営について」は議員の意見を十分考慮され提案されております。

民間企業は採算が合うか、死活問題であり、行政が行うよりもコストパフォーマンスの高い取組になると確信しております。

反対

大西ひろ美議員

委員会では悩む中賛成しましたが、再提案を求め反対します。

観光拠点・分散型ホテルについては賛成であり、地域活性化につながるかと考えます。

そんな中、先日、美濃市での官民連携による「ま

民間業者一丸となり素晴らしいものにしていくことはありませんか。このことこそが議会の責任と考えます。

反対

小川庄策議員

グラントデザイン、全体構想DBO...公設民営の一方式で、民間の意見を取り入れるため、公共が設計・施工・運営を一括発注し、運営は民間が行う。

私は7月10日の特別委員会では、まだこの条例に悩んでおり、退席をさせていただきました。

市が旧柏原町役場を高級なホテル化へ望むことは良いと思います。

この1年でホテル化を取り巻く環境は、地域もそして意識も少しずつ変化してきたことは理解しています。

当初の提案は「論外」と言うよりも、市民の税金を、一体何を考えて提案しているのだろうかと感じる程でしたが、内容が見直され、地域もそして地域における各種団体も理解を示して来たと感じています。

だからこそ旧柏原町役場のホテル化が地域にとって必要なならば、地域もそして団体も自らが行動を起こしホテル化をすべきではないでしょうか。

正直、何が正解だなんてわかりませんが、もうこの言葉が物語っていませんか。民間が進出し

賛成

小橋昭彦議員



はじめに市長に指摘しておきたいのですが、本件は本来このように政治問題化するような話では

ちなか古民家「活用事業を視察しました。美濃市は、官民連携ではありませんが、市からの費用負担はなしで、進められています。これを聞き、その覚悟と姿勢に大変感銘を受けました。

住民福祉の向上の観点から考察しても、この額は、大変大きな負担と言えます。市の負担額を減額する方向で、再提案を求めたいと考えます。

よって、この議案第75号については反対といたします。

ない(投資する価値なし)と市が判断しているのなら結果なんて・・・。それでも、何か行動を起こさないといけない、このままではジリ貧だと言っているのであれば、行う行動はただ一つ、民間自らが投資し進出したくなる「まちづくり」ではないですか。

高級なホテルを作ることに「だけ」が目的に代わっていませんか。まちづくりの基本は人づくりではないですか。

今、丹波市内では、自らの力で古民家を取得し自らがリフォームを行い農泊による賑わいづくりの創出にがんばっている人たちもいます。

議員各位には、今一度自信を持って背中を押せるのか熟考いただき賛同していただけることを願います。

した案を汲み取った上さらに市の負担を減らした案になっています。こうした過程を経た案を否決することは、熟議の過程を否定することになり、民主主義に対する危機感を感じざるを得ないので

もちろん、新しい事情があれば考慮すべきですが、それはないように思います。

われわれが学ぶ議員の心得に「批判するには、代案をもってせよ」とあります。現時点までの議論の中で、この一年間の、そして特別委員会における経緯を経た上での新しい論点や実現性のある代案は提示されていません。

今回の事業は、時代に合った内容で、丹波市観光の目玉になり得ます。丹波市の未来のために必要な事業です。

開催
します。
。

丹波市議会からのお知らせ

令和元年9月8日(日)
午前9時～【代表質問】

日曜
議会、

丹波市議会では、今年3月に丹波市議会開催第100回を迎え、また、11月には市制発足15周年になることを記念して、さらなる「開かれた議会」を目指し、全国的にも開催が数少ない「日曜議会」を開催いたします。

「日曜議会」では、6つある会派の代表による、代表質問を行います。

平日は仕事などで傍聴できない市民の皆様にも傍聴していただく良い機会ですので、ぜひお越しください。



丹波市議会 HP

開催スケジュール

当日の進行状況により、時間は前後する場合があります。

午前9時00分

開議

- 1 一般質問【日本共産党議員団】 西脇 秀隆
「人口減少対策における子育て施策の充実について」「農業施策の充実について」
- 2 一般質問【公明党】 藤原 悟
「消費税増税等に伴う今後の財政運営について」「みんなで支え合い希望の持てる社会の構築について」
- 3 一般質問【丹波クラブ】 奥村 正行
「2020年度に向けた補助事業のあり方について」「県立丹波医療センター周辺道路整備について」

正午 ～ 午後1時00分 休憩

- 4 一般質問【新風クラブ】 太田 一誠
「機能集約について」「暮らしの安全安心をいかに考えるのか」
- 5 一般質問【丹新会】 吉積 毅
「SDGsの丹波市としての取組む方向性と目標について」「公共施設維持管理や整備と空き家課題に向けた取組みについて」「職員のあり方と未来予想図を明確に」
- 6 一般質問【創生会】 近藤 憲生
「丹波市農業の課題と今後の取組みについて」「丹波市の更なる安全・安心に向けて」

午後4時00分

終了

傍聴について

傍聴の定員は、28人（うち車いす用スペース2席分）となっております。傍聴を希望される方は、事前予約は不要ですので、本庁舎正面玄関から階段又はエレベーターで、3階議会事務局までお越しください。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail：gikai@city.tamba.lg.jp

委員 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長 議長
「広報広聴委員会」 林 時彦
近藤 憲生
大西 ひろ美
大嶋 恵子
吉積 毅
広田 まゆみ
谷水 雄一
藤原 悟

【お問合せ】

丹波市議会事務局
TEL 0795-82-1472 FAX 0795-82-1523
丹波市議会 HP
<https://www.city.tamba.lg.jp/site/gikai/>

